

教科・科目	学年学科	単位数	教科書	使用教材
地理歴史科 日本史A	2年 全学科	2	高等学校 改訂版 日本史A 一人・くらし・未来― (第一学習社)	改訂版 日本史Aノート (第一学習社)
科目の概要と 目標	我が国の近現代の歴史展開を、地図などの諸資料に基づき世界の歴史や地理と関連付けて現代の様々な課題に着目して考察することにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
近代国家の形成 と国際関係の 推移	・「日本史A」の学習について ・近代への胎動 ・開国と幕末の動乱 ・近代国家の形成 ・国際関係の推移と近代産業の発展	・歴史を学ぶ意義について考える。 ・開国に至る経緯とそれ以後の情勢の中で尊王攘夷運動や討幕運動が起こり、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。 ・文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸制度の改革に伴う社会・文化の変化に着目しながら、自由民権運動を経て憲法が制定され、立憲体制が確立するまでを理解する。 ・条約改正や日清・日露戦争前後の欧米諸国やアジア近隣諸国との関係の変化に着目しながら、我が国の対外政策の推移について理解する。 ・明治後半から大正期において国内的に政党政治が展開したことを理解する。		
両大戦をめぐる 国際情勢	・第一次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦と日本	・日清・日露戦争を経て産業革命が起こり、資本主義が確立したことや、その発展により都市や村落の生活が変化し様々な社会問題が発生したことを理解する。 ・明治期と昭和期の思想の違い、文化的業績とその背景としての政府の政策との関係について理解する。 ・第一次世界大戦が我が国の外交政策やその後の経済や国際社会に与えた影響について理解する。 ・第一次大戦から第二次大戦に至る我が国の内政・外交の展開と経済・社会の推移を国際情勢、とりわけアジア近隣諸国との関係に着目しながら理解する。		
現代の日本と世界	・日本の再出発 ・独立後の政治と経済の発展	・戦後の連合国による占領政策、民主化の諸改革の内容と、新憲法制定や平和条約締結への過程を学び、独立後の政治推移と新たな外交関係の確立について理解する。		